

保育所 公表日 R6.3.1

作成者：施設長 江淵 武雄

※ 今年度のえぶちにしや園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入する。

・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。

項目毎ごとに意見・改善策があれば記述する。

項目

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容					
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			全職員が意識をもって子ども達一人ひとりに合わせた保育を工夫行えるよう務めた。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			持ち上がりの担当が多くおり、話し合いはスムーズであったが、その分全職員での検討意識が弱まってしまった。
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。			○		
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。				○	
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			0～2歳児クラスでは保育環境や遊び環境を見直し、よりよい保育が行えるよう改善に向け動き出すことが出来た。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			3～5歳児クラスでは配置や遊び環境環境を検討し更に改善した。子ども自ら選択し伸び伸びと遊び込む事が出来るようになってきている。
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			引き続き園全体として遊びを主とした主体性に繋がる環境構成について学びを深めたい。
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			ゆとりある流れとなるよう、各クラス見直しを行い改善に努めたが年間を遠し先を見ての更なる検討が必要である。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			SDGSや食育も毎月行いながら【学ぶ行事】となるよう努めた。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		○			保護者参加行事を新たに見直し、親子フェスティバル(運動発表)、お楽しみ会(発表会)、誕生会参観、英語参観、個人面談、保育参加・参観等の行事を設定し、日々の活動からの成長を気軽に見学できる機会を多くした。アンケートも取り、次年度更に改善に努めたい。
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				行事特有の特別感は大切にしながらも、日々の積み重ねの中にある小さなしかし確実な成長に保護者に気づいて、知ってもらえるような行事にしていきたい。
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。				○	

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営	体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		適材適所の人材配置としており、人員数も基準より厚く配置している。 今年度は姉妹園のフォローも多く行い法人全体で協力したが、年度末は自園に不可が掛かり余裕を持って業務を進める事が出来なかった。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○	
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○	3～5歳児クラスでは若手、中堅職員が中心となり園を盛り上げてくれていた。今後もその流れを園全体に浸透させられるよう努めたい。 一度の話し合いでの充実度を高めるために、引き続き効率化を図りたい。 法人全体の会議は効率化と充実度を上げるために検討を要する。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○	
(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。				○		
組織	年齢別クラス	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。			○	指導計画に反映させて行っている。 クラス目標は臨機応変に子どもの様子に合わせ変更するなど細やかな対応が出来たが一年の見直しはまだ弱く改善への伸びしろがある。 異年齢間の交流も乳児、幼児共に日々の生活の中に取り入れ活動したり、年度末に交流会担当職員が更に計画し取り組めた。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。			○	
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。			○	
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。			○	
	経営	(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		各学年ごとのチーム保育だけでなく、異年齢、学年を越えた園全体としてのチーム保育に着目し、環境を検討するなど更に邁進したい。
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○		
保健安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		保健、安全関係については、毎月救急対応訓練として課題に添って取り組んでいる。避難訓練等に関しては検討を重ね充実した内容に徐々に近づいている為、次年度に向け継続、検討したい。 保護者参加型の引き取り訓練も行った。今後も更に防災に関しても周知、検討を深めたい。	
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研究・研修	所内研究	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。			○	救急対応訓練を担当者が研究した上で他職員に研修として伝える取り組みを行っている。 担当職員がSDGS課題に取り組み、園児にも媒体を通して伝える取り組みを行っている。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。			○	
	所外研究・研修	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○	救急対応訓練以外の園内研修が計画出来ていない為、園全体で検討が必要であり、上級キャリア職員を含め検討し、実現したい。
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○	
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		例年は年間120回ほど実施し、園内研修で広め内容を共有している。オンライン等で参加し報告書や日常会話の中で共有し保育に生かせるように心掛けている。 今年度よりコドモンのオンライン研修を導入し、午睡時間に自由に研修に参加できるようにした。	
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護規定を設定し行う。定期的に個人情報保護についての勉強の場を設けている。 今年度は勉強の場を多く設ける事が難しかったため、次年度に引き継ぎたい。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				安全点検リストに従い実施している。又、玩具に関しては消毒や点検を使うごとに毎回行っている。引き続きコロナ禍が明けても消毒は徹底した。今年度も不審者対応訓練を行い試行錯誤しながら検討を重ね共通理解を深める事が出来た。保護者参加型の引き取り訓練では昨年よりもスムーズな訓練が出来た。引き続き、保護者への防災に関する働きかけを大切にしていきたい。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周到的な配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			適宜実施している。
開設された交流の保育連携づくり	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。			○		姉妹園のえびち保育園と0～5歳児同士で交流を図っている。 近隣保育園との公園交流や、川島小学校、上菅田笹の丘小学校との1年生5年生と5歳児の交流も年二回行った。又、幼保小交流事業の一環として今年度は小学校や他施設向けに当園で5歳児の保育参観を行い、その後の座談会等で接続期に向けた情報交換を行う事が出来た。今後もより良い関係性を築き、交流を続けたい。
	(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
	(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
家庭や社会との地域連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		月1回地域の高齢者と異世代交流やハロウィン行事では地域商店街に協力頂きながら今年度も交流を行えた。 園外活動で出会う地域の方や親子に積極的に声をかけ交流しようと働き掛けたり、一時保育を昨年度より多く受け入れ、園児学者や交流にも積極的に取り組んだ。 次年度は地域のお年寄りとの交流内容を見直し、より良い内容となるよう努めたい。 あったか食堂の参加者が少ないため、周知方法を検討し直したい。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ 支 援 の 保 育 所 進 づ く り	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		園庭開放、交流保育、育児交流を適宜行っているが、参加が少なく、内容の検討が必要である。また、子育て相談や保護者支援については園以外の方へは検討が必要だが、園保護者へは全園児の個人面談を導入し、話を聞く事が出来たので更なる支援に繋げられるよう、今後も努めたい。 保護者から相談にはその都度積極的に声を掛け、面談を行い相談に応じている。園から声を掛け、面談や降園時に話せる時間も作っている。 今年度実現できなかった、育児講座や交流活動等新たに内容を検討し、実現に向け調整していきたい。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○		
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				ホームページで施設の情報を開示・発信している。 園の動画配信等を行い、保護者や地域に園での活動を発信している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		保護者向けにドキュメンテーションを作成し、園の様子や子どもの様子を発信した。 地域や関係機関、施設への発信が今後の課題であるため、検討し改善に努めたい。
外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			第三者評価を実施し施設運営に反映している。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○		
次 年 度 に 向 け て の 考 察	<p>今年度、ドキュメンテーションの本格導入やクラス便りの一新等、各学年が保育についてそれぞれ発信に努める事が出来た。又、保護者参加行事の内容を見直し、気軽に参観が出来る機会を多く設けた。内容については肯定的なご意見が多かったが、物足りなさを感じるといった内容もあった。子どもたちにとってより良い内容となるために、今後も検討を重ねたい。又、保護者向け【行事のために やらせる】のではなく、【成長とは日々の身近な活動の連続性の中にある】という主体性を大切にした保育を行いたいという園としての考えをしっかりと知って頂くために更なる働きかけを園全体として行っていきたい。</p> <p>昨年度に引き続き、低年齢児からの配慮を必要とする子どもの増加に伴い、成長発達に関して適切なアドバイスや専門機関との連携、年齢や特性に沿った支援の仕方を学び実践する事ができた。 今後もすべての子どもにとって偏りなく過ごしやすい安心できる環境についての模索を続けたい。</p> <p>当園では職員の質の向上へ向け、一人一人が自身と向き合い日々より良い保育ができる保育士を目指すべく、努めている。昨今の不適切保育事件のニュースを目の当たりにし、職員の質について考えさせられる日々であるが、当園に通う子ども、保護者、地域にとってよりよい保育園であり続けられるよう、当園で働く職員の間も大切にしながら、今後も園全体として皆で邁進していきたい。</p>					